

輸出繊維会館



大阪を拠点に数多くの名作を設計した建築家・村野藤吾の技が冴える。といっても、一見すると派手さのないビルらしい外観なので、多くの方が気にせずに通り過ぎてしまうかもしれない。しかし、眼を凝らせば、直線的なイタリア産トラバーチンの壁と、キラリと光る角を丸めたアルミサッシの取り合わせに、レトロ感と未来感が不思議に混じり合っている。西側に張り出した玄関庇や、内部の手すりも繊細な造形。内部の壁画は堂本印象によるもので、その中でも前室の壁画は“万邦交易”を表現している。こうしたアーティストとのコラボレーションも村野のお家芸だ。大阪の繊維輸出業界が生み出した、時代を超越した会館である。（倉方俊輔）

所在地：大阪市中央区備後町 3-4-9
建設年：1960年
構造・規模：SRC造8階、地下3階
設計：村野・森建築事務所（村野藤吾）